

## Microsoft Azure と Backup Exec Data Sheet

中小規模企業のデジタル変革を強力に後押ししてきたクラウドコンピューティングは、この10年の間に企業にとってなくてはならないテクノロジーとなっています。一方、短期間で成果を出すべく俊敏性の向上と自動化に重点的に取り組みたいというビジネス上の目的から、ミッションクリティカルな IT ワークロードはクラウドに移行され、コンピューティングパフォーマンスの高速化とリソース拡張性の確保が実現されつつあります。移行を迅速に行うための鍵はデータ保護にあります。ところが、このことは見過ごされてしまうことも多いようです。

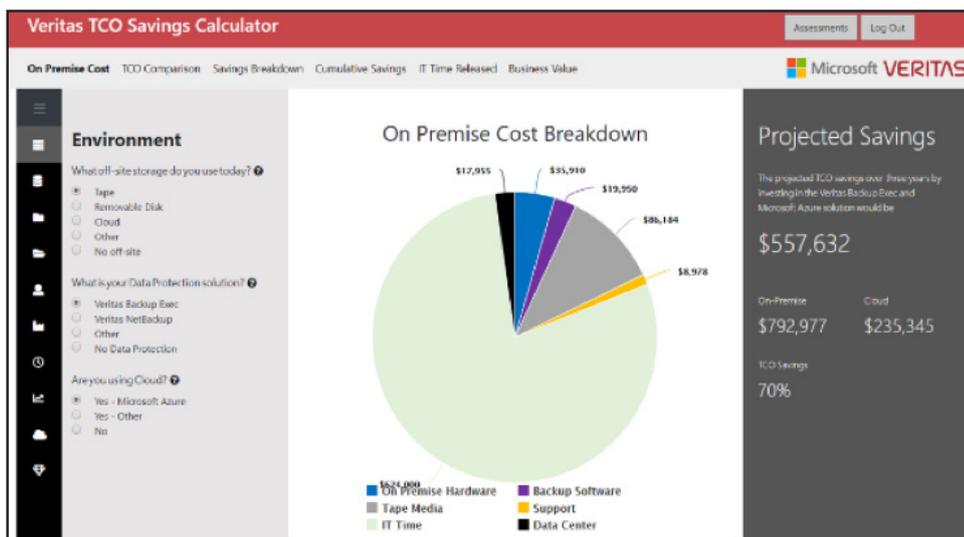
ベリタスは Microsoft 社と提携し、データをクラウドに移行してストレージコストの削減を目指す企業に最適なデータ保護ソリューションを提供します。データ保護機能と情報ガバナンス機能がネイティブに拡張されることで、企業は独自のペースで Microsoft Azure との統合に対応できます。

Microsoft Azure と Backup Exec を使用すれば、オンプレミス環境を孤立させることなく包括的にデジタル変革を推進し、Microsoft 社のクラウドサービスをより有益に活用できます。さらに、データという最も重要な資産の保護に注力できます。

### データ保護の刷新で総合保有コストを最小限に

コストを削減し、俊敏性を向上させる方法として、ビジネスプロセスのパブリッククラウドへの移行を検討している企業もあるでしょう。データ保護も、クラウドへの移行を検討すべき候補の1つです。

ただし、セキュリティとコンプライアンスのポリシーが実装されていない、あるいは無計画にデータをパブリッククラウドに移行するという状態では、機密性の高い規制対象データが漏洩するリスクにさらされてしまいます。まだデータベースのソリューションに頼っている企業の場合、Azure などのパブリッククラウドストレージにデータを移行して、長期間にわたるデータ保持とディザスタリカバリを実現すれば、ストレージコストを削減できるうえ、データ保護のモダナイズとデジタル変革をスマートに進められます。



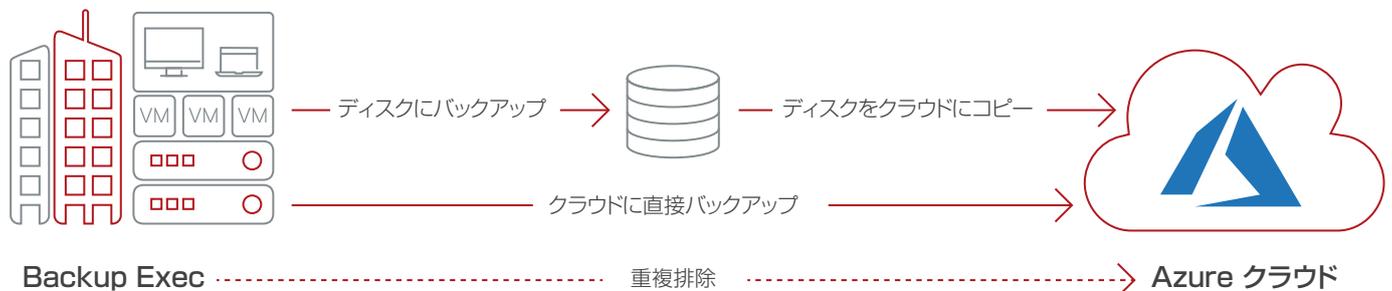
Backup Exec を使用して Microsoft Azure に保存されているデータを保護すると、以下のメリットを得られます。

- 安全性と拡張性に優れた Azure クラウドストレージにより、データ保護がシンプルに
- 設備投資を削減し、予測と管理が容易な従量課金制の運用コスト構造に転換
- 使いやすい Azure クラウドストレージにより、高価なテープを用いた煩雑なバックアッププロセスと管理プロセスが不要に
- 保存中、あるいは転送中のすべてのデータを FIPS 140-2 に準拠した AES 256 暗号化で保護
- Backup Exec のクラウド対応の重複排除機能で、帯域幅の使用量とコストを最適化
- Veritas TCO Calculator を使用して、総所有コストの削減額やビジネス上のメリットを 1 つの画面で可視化

### AZURE クラウドプラットフォームでディザスタリカバリを強化

Backup Exec でデータ転送を最適化し、リスクを最小限に抑えることで、従来のオンプレミスストレージからクラウドへの移行を考えている企業にとっての Azure クラウドストレージのメリットがさらに大きくなります。Backup Exec を Azure クラウドコネクタで補完すれば、バックアップとリカバリの戦略を強化できます。

- RPO と RTO を削減: インスタントクラウドリカバリでオフサイトバックアップとディザスタリカバリの統合ソリューションを容易に管理 (Azure を活用)
- ストレージコストと帯域幅を最適化: 重複排除されたデータを WAN 経由でオフサイトの Azure クラウドに直接バックアップ (バックアップデータのオンサイトストレージが不要に (D2C))
- オンサイトのディスク、重複排除ストレージ、アプライアンスまたは VTL にデータをバックアップし、オフサイトの Azure クラウドストレージにコピーを送信 (D2D2C)



### クラウドベースのワークロードに対応した AZURE でデータを保護

パブリッククラウドのミッションクリティカルなワークロードの数は、今後 2 年間で 2 倍になると予測されています。企業は、データ保護に関して新たな課題と向き合わなければならない、堅牢なデータ保護とリカバリソリューションの導入が、これまで以上に重要になります。

Backup Exec は、Azure クラウドのワークロードとローカルサーバーの両方を保護します。クラウドに保存されたデータはすべて、迅速にリカバリされます。

- データ保護とリカバリをシンプルに: Backup Exec は、ツールやプロセスを追加することなく、Azure とシームレスに連携
- 保存場所を問わず、データの可視化と制御が可能: Azure ベースのワークロードとローカルサーバーのすべてにおいて、単一のコンソールで同じバックアップテンプレートとワークフローを使用してバックアップを管理
- Azure クラウドの Backup Exec インフラを、ローカルサーバーのディザスタリカバリサイトとして利用可能。高価なディザスタリカバリ専用環境を用意することなく、ローカルサーバーと Azure ベースのインスタンスを、ローカルデータセンターや他のクラウドサービスプロバイダにリカバリ

## まとめ

Azure クラウドによるアプリケーションやサービスを利用する企業が増えるにつれ、自社の環境を保護し、管理するための信頼できるバックアップ/リカバリソリューションへのニーズが高まっています。Backup Exec を使用すれば、オンプレミス環境で実証済みのデータ保護ソリューションを、プライベートクラウドやストレージプロバイダにシームレスに拡張できます。Backup Exec であらゆるデータを確実に保護することで、不安を覚えることなくデジタル変革を進めることができます。

ワークロードをクラウドに移行済みであっても、あるいはクラウドストレージをオンプレミスデータのバックアップとリカバリに活用したいと考えている場合であっても、Backup Exec は単一のプラットフォームで複数のクラウドオプションを提供します。

Backup Exec は、すぐに導入できるソリューションとして、Microsoft 社のパブリッククラウドシステムツールとアプリケーションのオンラインストアである Azure Marketplace で入手できます。Azure Marketplace では、ハイブリッドで活用できるよう、あらかじめ Backup Exec が構成されたイメージをご利用いただけます。Azure Marketplace テンプレートを使用时、Backup Exec ソフトウェアをインストールして 1 回クリックするだけで、Azure でホストされたサーバーに配備できます。

詳細については、<https://www.veritas.com/product/backup-and-recovery/backup-exec/azure> をご参照ください。

---

## ベリタスについて

情報は企業にとって最も重要な資産です。ベリタスは、情報から真実を見出せるよう、あらゆる規模の企業を支援します。お客様は、ベリタスのプラットフォームを利用して、デジタル変革を迅速に実現するとともに、マルチクラウドデータ管理、データ保護、ストレージ最適化、コンプライアンス対応準備、ワークロード移行、クラウドベンダーの固定化の回避など、IT とビジネスに関わるさまざまな切迫した課題に対応できます。現在、Fortune 500 企業の 86% が、ベリタスのソリューションを利用してインサイトを獲得し、競争優位の確立に役立てています。詳細は、[www.veritas.com/ja/jp](http://www.veritas.com/ja/jp) をご覧になるか、Twitter (@veritastechllc) でフォローしてください。

ベリタステクノロジーズ合同会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44  
赤坂インターシティ 4 階  
■電話: 0120-907-000  
(IP 電話からは 03-4531-1799)  
[www.veritas.com/ja/jp](http://www.veritas.com/ja/jp)

各国オフィスとお問い合わせ先については、  
ベリタスの Web サイトを参照してください。  
[veritas.com/ja/jp/about/contact.html](http://veritas.com/ja/jp/about/contact.html)

**VERITAS**<sup>™</sup>  
The truth in information.



V0498 12/18